

## 『総合都市研究』第3年度総目次

第7号	1979年10月	
編集者のことば	1	
都市研究における「問題の体系」——第一次試案——	千葉 正士	3
「東京中央区劃定之問題」について	石田 頼房	15
多摩・墨田地区における集合居住者の健康・体力についての意識	永田 晟・磯川 正教 金本 益男・酒井 誠 品田めぐみ・小椋 博	35
都市農業と農家の都市的土地利用	大石 堪山	47
商業地区における交通特性と交通規制の水準設定に関する研究	山川 仁・秋山 哲男	73
小河内貯水池操作のための基礎的検討 ——確率水文学によるアプローチ——	新井 邦夫・丸井 信雄	113
書 評		
『計画的な小集団開発 これからのいえづくり・まちづくり』延藤安弘他著	中林 一樹	123
書評に答えて——大森彌氏に——	赤木須留喜	125
<hr/>		
第8号 特集 震災予防研究(その3)	1979年12月	
編集者のことば：社会科学的震災予防研究の必要	千葉 正士・中野 尊正	1
最近の地震災害の特色と今後の研究課題	中野 尊正	3
地震が地域に与えたダメージとその地域特性について ——1978年宮城県沖地震を例として——	中林 一樹	15
東京下町地区の地震時群集避難について	堀口 孝男・小坂 俊吉	27
住民予定避難行動からみた一次集合場所の可能性について	山川 仁・秋山 哲男	41
大地震後に想定される地下空間水没の確率評価試案(1)	新井 邦夫	57
ダム・堤防の決壊及び物体の落下に伴う波に関する予備的考察	丸井 信雄・安川 浩 宇井 正和	65
地震動特性のパターン化と耐震設計への応用に関する基礎研究	鈴木 浩平・戸沢 祥二 青木 繁	73
墓石調査から推定される最大加速度に関する2, 3の考察	国井 隆弘	111
丘陵地における木造家屋の地震被害——被害率, 被害タイプ および被害発生に關与する地盤条件の時代による変化——	田村 俊和	121
木造建物の諸性状と地震被害の關係について ——1968年十勝沖地震, 1978年宮城県沖地震の調査から——	望月 利男・宮野 道雄	131
1968年十勝沖地震における鉄筋コンクリート造建物の 被害と地盤の關係	望月 利男・宮野 道雄 田村 俊和	145

サイスミック・マイクロゾーニングにおける震度分布の評価手法について：その2

関東大地震の断層モデルによる実体波の Radiation Pattern と

被害分布の対応性……………望月 利男・宮野 道雄  
松田 盤余・小泉 敏一………… 165

地盤構造にもとづくサイスミック・マイクロゾーニングについて

——東京都大田区を例として——……………松田 盤余・望月 利男  
小泉 敏一………… 177

第9号 特集 「多摩地区総合調査」研究報告 1 1980年3月

編集者のことば…………… 1

大都市の集合住宅をめぐる共同研究

——「多摩地区総合調査」研究報告のはじめに——……………古屋野正伍…………

大都市における社会生活上の居住性

——多摩ニュータウンと共同性・社会関係・社会的地位(その1)——高橋 和宏・江原由美子  
寺田 良一・園部 雅之  
池田 寛二・野辺 政雄…………

アパート団地(集合住宅)と一戸建居住者の居住意識に関する……………加藤 義明・詫摩 武俊…………

予備的研究大規模ニュータウン開発と近郊農業

——多摩ニュータウン開発地域を事例として——……………大石 堪山・山川 充夫  
石村 満宏・小金沢孝昭  
片岡 務…………

Estate：訳語とその周辺……………水谷 三公…………

『総合都市研究』第3年度総目次……………